

令和6年度岡山県スポーツ推進委員協議会 第2回組織活性化部会

日 時：令和7年1月17日（金）

15：00～17：00

場 所：ピュアリティまきび

3階「飛鳥」

1 開 会

2 あいさつ

3 協議内容

（1）令和6年度初任者研修会の反省について

（2）令和7年度の活動について

（3）岡山県スポーツ推進委員協議会の支部再編について

（4）その他

○事務局から

・令和7年度予算について

4 その他

5 閉 会

令和6年度岡山県スポーツ推進委員協議会
組織活性化部員名簿

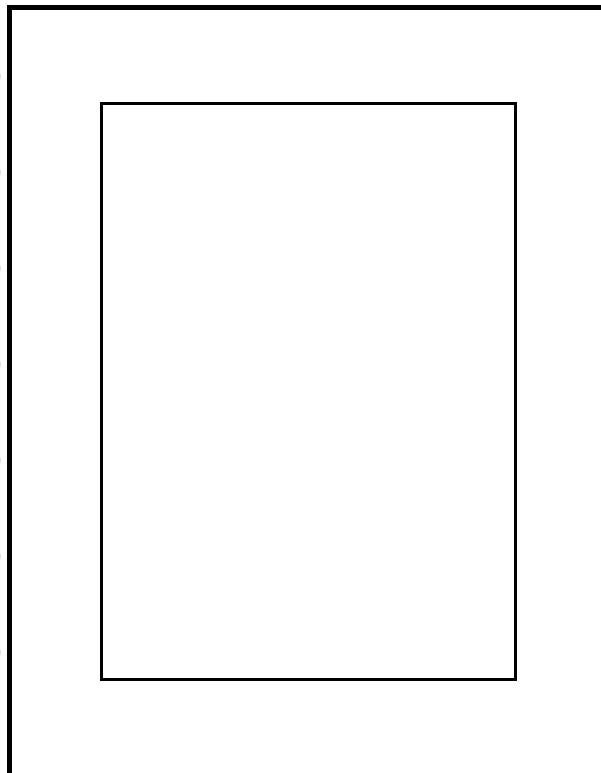
	氏 名	役 職	市町村	備 考
1	黒 田 眞 路	部 長	新庄村	
2	岡 崎 眞公子	副部長	赤磐市	
3	平 田 久実子	副部長	高梁市	
4	棕 代 弘	部 員	岡山市	
5	白 井 福 美	部 員	玉野市	
6	藤 原 博 文	部 員	瀬戸内市	
7	松 江 良 一	部 員	赤磐市	
8	河内 留美子	部 員	吉備中央町	
9	岡 村 登志男	部 員	倉敷市	
10	妹 尾 曜 子	部 員	井原市	欠席
11	妹 尾 康 代	部 員	浅口市	欠席
12	小 野 妙 子	部 員	里庄町	
13	片 岡 伸 介	部 員	高梁市	欠席
14	清 本 喜 子	部 員	新見市	
15	眞賀里 京子	部 員	新見市	
16	服 部 康 正	部 員	津山市	
17	前 田 江 美	部 員	真庭市	欠席
18	半 田 智 子	部 員	〃	
19	橋 本 峰 子	部 員	美作市	
20	篠 原 裕 和	部 員	美咲町	

(順不同・敬称略)

令和6年度岡山県スポーツ推進委員協議会
第2回組織活性化部会 配席表

岡 崎 副 部 長	黒 田 部 長	赤 木 会 長	平 田 副 部 長
○	○	○	○

棕代委員 ○
 白井委員 ○
 藤原委員 ○
 松江委員 ○
 河内委員 ○
 岡村委員 ○
 小野委員 ○



○ 清本委員
 ○ 眞賀里委員
 ○ 服部委員
 ○ 半田委員
 ○ 橋本委員
 ○ 篠原委員
 ○ 長尾理事長

○ ○ ○

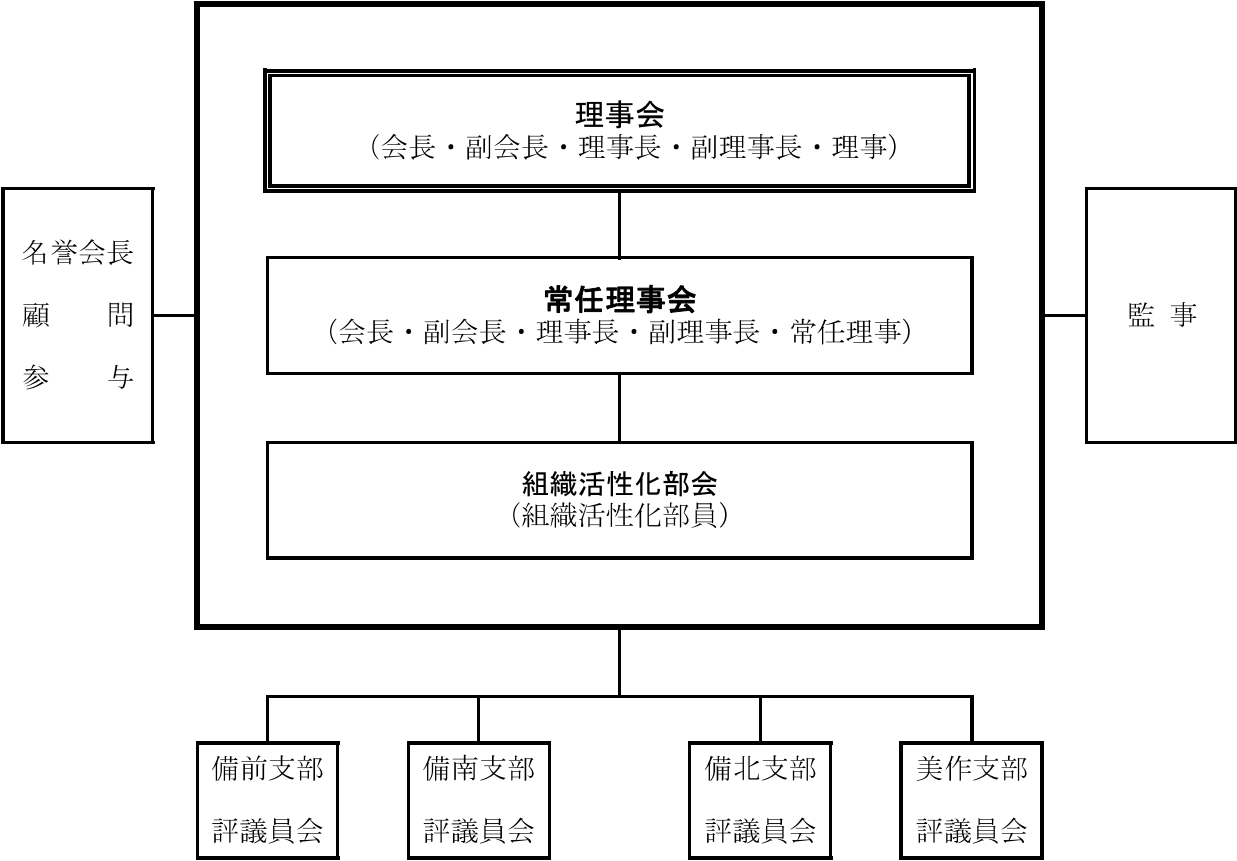
川
藤
 緒
方
 松
本

事務局

岡山県スポーツ推進委員協議会組織

R6(2024).4.1～

＜組 織 図＞



※選考委員会は常任理事会が兼ねる。

〈 M E M O 〉

岡山県スポーツ推進委員協議会組織活性化部会規約

(設 置)

第1条 岡山県スポーツ推進委員協議会規約第14条により、岡山県スポーツ推進委員協議会に岡山県スポーツ推進委員協議会組織活性化部会（以下「部会」という。）を設置する。

(目 的)

第2条 この部会は、岡山県スポーツ推進委員協議会の事業の充実並びにスポーツ推進委員の資質の向上及び活動の活性化に資する方策等を研究協議することを目的とする。

(構 成)

第3条 部会は、スポーツ推進委員のうち各支部から推薦を受けた者及び理事会の議決を経て会長が委嘱した者をもって構成する。

(役 員)

第4条 部会に部長1名、副部長2名を置く。

2 部長は、部会を代表し、会務を掌理する。

3 副部長は、部長を補佐し、部長が職務を遂行できない場合は、その職務を代行する。

(役員を選任)

第5条 部長及び副部長は、部員のうちから互選し、会長が委嘱する。

(任 期)

第6条 部員及び役員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

2 補欠または増員により選任された部員の任期は、前任者の任期とする。

3 部員は、その任期満了後においても、後任の就任までその職を行う。

(部 会)

第7条 この部会は随時開催するものとし、部長が召集して議長となる。

2 この部会は、部員の過半数が出席しなければ、議決することはできない。ただし、部員の出席及び委任状を合わせて過半数に達していれば、議決することができる。

3 この部会の議事は、出席部員の過半数で決し、可否同数のときは、議長が決定する。

4 部長は、決議した内容について常任理事会へ諮ることとする。

(そ の 他)

第8条 この規約に定めるもののほか必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、令和 6年4月 1日から施行する。

岡山県スポーツ推進委員協議会組織活性化部会規約施行細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岡山県スポーツ推進委員協議会組織活性化部会規約第8条の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(構成部員)

第2条 部員については、各支部に、県及び市町村協議会の中核を担う資質をもつ委員4名を推薦する。

2 各支部が推薦する委員のうち、2名以上は女性とする。

3 会長は、4名を推薦することができる。

4 部長は1名、副部長は2名で構成し、その内2名以上は女性とする。

(研究協議事項)

第3条 本部会は、次の事項を研究協議することとする。

(1) 岡山県スポーツ推進委員研修会の内容に関すること。

(2) 初任者研修会や専門的な勉強会等の開催に関すること。

(3) ファミリー健康体力測定事業の実施に関すること。

(4) 各地域における有益な取組事例の情報発信に関すること。

(5) 地域住民のスポーツ実施率向上に関すること。

(6) その他、スポーツ推進委員の資質向上に関すること。

附 則

本細則は、令和 6年4月 1日から施行する。

令和6年度岡山県スポーツ推進委員初任者研修会開催要項

- 1 趣 旨 スポーツ推進委員初任者が職務に対する認識を深め、地域スポーツ振興に必要な知識及び技能について研修し、資質の向上を図る。
- 2 主 催 岡山県 岡山県スポーツ推進委員協議会
- 3 日 時 令和6年7月13日（土） 9：30～11：50（予定）
- 4 会 場 新見市役所 南庁舎 大会議室
- 5 対 象 スポーツ推進委員歴5年未満の者と希望者及び市町村担当者
- 6 日 程 9:30 ～ 受付
10:00 ～ 開講式
10:05 ～ 10:35 講義
10:40 ～ 11:40 意見交換会（グループワーク）
11:45 ～ 閉講式
- 7 指導者 ○講義
 岡山県スポーツ推進委員協議会 会長 赤木 弘蔵

 ○意見交換会
 各支部組織活性化部員他

8 参加申込

（1）申込み方法

「令和6年度岡山県生涯スポーツ研究大会兼岡山県スポーツ推進委員研修会 参加申込書」に、初任者研修参加者を取りまとめ、メールにて返信願います。

※県研修会申込書に記入

（2）申込先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県スポーツ推進委員協議会事務局 川藤 あて

TEL：086-226-7467 FAX：086-225-0260

E-mail：keiichi_kawafuji@pref.okayama.lg.jp

- (3) 参加料
無料

9 携行品

- ・ 筆記用具
- ・ 飲み物

10 その他

- ・ 別紙参加申込書にて令和6年6月5日(水)までに申し込んでください。
(県研修会申込締切と同日)
- ・ スポーツ推進委員歴5年未満の方は受講するよう努めてください。
- ・ 組織活性化部員の弁当代は県事務局が負担します。

令和6年度 岡山県スポーツ推進委員初任者研修会 アンケート結果

総参加者62名（組織活性化部員含む） アンケート回答数：44

（○：肯定・前向き ●：意見等 △：要望等）

1 時期・会場についてご意見をお書きください。

【スポーツ推進委員】

○時期も会場も良かった。（多数）

・環境が良く、話しやすい会場だった。

○県研修会1日目の午前中に開催したことが良かった。

○会場地がわかりやすかった。

○各地域でイベントが少ない時期の開催なので良いと思う。

○梅雨の時期で雨が心配だったが、会場の空調、外観等清潔で良かった。

○会場は、各市町村で持ち回りで開催されていると思うので、良いと思う。

・高速のICからのアクセスが良い。遠い時もある、近い時もある。

・いろいろな市町村を知ることができる。

○新見市さん、ありがとうございました。（多数）

●時期については、新年度当初のもう少し早い時期に開催してほしい。

●中国地区研修会の2週間後なので、できれば間隔を開けて開催してもらいたい。

・中国地区研修より前に開催しても良いのでは。

●県研修会担当支部としては、同一日程は忙しい。

●3連休なのに…

【市町村事務局担当者】

○時期も会場も良かった。（多数）

○県研修会と同じ日の開催は、ありがたい。

○新見市の駐車場係の誘導で、スムーズに駐車できた。

●土曜日の午前中は、子育て世代の推進委員の参加が困難だった。

2 初任者研修会の内容等についてご意見をお書きください。（次回への要望など）

【スポーツ推進委員】

○意見交換会の場があって良かった。（多数）

○自由に意見交換ができて良かった。（多数）

○スポーツ推進委員の役割など再認識できて良かった。（多数）

○多くの情報交換ができ、楽しく勉強になった。

○意見交換会が楽しかった。

○初任者とベテランの推進委員が同じテーブルで意見交換できて良かった。

○経験豊富な推進委員の意見を聞くことができて、勉強になった。（多数）

○テーマが設定されての意見交換は、話が脱線する心配がなく良かった。

○グループワークからの発表の流れが良かった。

○活性化部員の方が意見を引き出してくれて有意義だった。

○スポーツ推進委員は、どのような委員で、何をすべきか、堅いイメージだったが、スポーツを「楽しんでもらう」「手助け役」という役割もあり、少し気が楽になった。

- 会長の講義で、スポーツ推進委員の組織について、全国連合までの説明は有意義だった。
- 会長の講義は、今後のスポーツ推進委員の在り方や進め方などに役に立った。
- 様々な意見の中から、感性に合うもの、合わないものを再認識していきたい。
- 初任者研修会は、他の都道府県や市町村の取り組み事例や、学識経験者の講義等で、スポーツ推進委員の役割について学べる機会であれば良いと思う。
- 他市町村の活動状況を知ることが重要だと思う。
- 他市町村の活動や取組を知りたい。
- 初任研は難しいイメージだったが、違って良かった。
- 良いことも悪いことも素直に話すことができる場にしていきたい。
- 講義の資料がなかったので、わかりにくい印象があった。
- 初任者に対する資料が必要ではないか。
 - ・パワーポイントの活用
- 初参加でした。初任研があることを知らなかった。
- 意見交換会の時間をもう少し確保してほしい。(多数)
- 全体的に時間が短いと感じる。(多数)
- 意見交換会のテーマが少し難しかった。もう少し初任者に合わせたテーマのほうが嬉しい。
- 初任者にとってわかりやすいテーマや役立つ内容がもう少しあっても良かった。
- 今回の内容は、ベテランの推進委員には有意義な内容だったと思うが、初任者の方には、難しい内容だったと思う。
 - ・いくつかの市町村に依頼して、具体的な活動や取組を発表してもらおうと良いのではないかな。

【市町村事務局担当者】

- 他市町村の活動や取組を聞くことができて良かった。有意義だった。(多数)
- 今後もこのような研修会を開催してもらいたい。
- 事務局が抱える課題を共有でき、有意義な意見交換ができた。(多数)
- 他市町村の状況を聞き、自分の考えにない意見を得られた。
- 他市町村の取組を参考にしていきたい。
- 事務局のグループ人数が多かったので、分けても良かったと思う。
- 講義の資料がある方が分かりやすい。

3 自由にご意見・ご感想をお書きください。

【スポーツ推進委員】

- 次回も参加したい。
- 楽しく参加できた。
- 他の市町村の方と情報交換できたことがとても良かった。
- 初任研はどんなことをしているのか知りたく、初めて参加したが、他市町村の活動を聞くことができて、とても有意義だった。
- 他の市町村の体制や役割に違いがあることが分かった。
- 「これが本道」というものに縛られるのではなく、目指す方向性が共有できる方が良いと思う。
- なかなか家庭の都合で参加できないが、参加できる機会があれば参加し、勉強していきたい。
- スポーツ推進委員の意義や法的立場が分かって良かった。
 - ・他の初任者へ伝えることが重要だと感じた。

- これからも少しずつ参加していき、**楽しみたい**。
- スポーツ推進委員の仕事や役割など受け身だったが、もう少し積極的に活動していきたいと感じた。
- 県研修会の午前中ということで、普段会うことができない推進委員と意見交換ができて良かった。
- これからも、気軽に参加できる研修会をお願いします。
- 初任者の本音を聞くことができなかったように思う。テーマを設定するのではなく、困り感や疑問。知りたいことを聞ける場にしていきたい。
- スポーツ推進委員の方が、「新規の推進委員が増えてこない」などの後ろ向きな意見が多いことに驚いた。やはり、知られていないことが原因ではないかと思った。
- △会長から協議会として集めている意義を聞きたかった。
 - ・全国、県、単位、ブロック協議会へと広がっていく、それぞれの段階で重点となる意義の違いについて聞きたい。
- △初任者研修会を義務研修にしてみようか。
 - ・5年未満及び初任研未参加の推進委員の義務化
- △初任者研修会だけでなく、他の研修会等でも情報交換の場があれば参考になると思う。
- △推進委員の横のつながりの場が増えれば、活性化の一助となるのではないかな。
- △推進委員が「楽しむ」。楽しくないところには人が集まらないので、推進委員の地位や待遇を向上することや、楽しむことができる人材の発掘（募集・公募）を進める取組ができないだろうか。
- 今後、組織活性化部会で協議・検討します。
- △市町村事務局担当者会を最低1回は開催し、情報交換をしてはどうか。
- 様々状況を見ながら、検討します。

【市町村事務局担当者】

- 他の初任者推進委員へ、情報共有していきたい。
- △意見交換の時間を増やしてもらいたい。
- 今後、組織活性化部会で協議・検討します。
- △委員の管理や研修等の申し込み、表彰などを管理できるシステムがほしい。連絡をシステムから一斉送信したい。（メール、郵便が混在している）
- 各市町村で、システムを構築してください。

ご協力ありがとうございました

岡山県スポーツ推進委員協議会事務局
川藤

岡山県スポーツ推進委員協議会 支部再編について

現在、岡山県スポーツ推進委員協議会（以下、県協議会という。）は、4支部（備前・備南・備北・美作）の編成で活動をしている。

各市町村は、エリアで分けられ、各支部に所属している。その中、年々スポーツ推進委員の登録数が減少しており、備北支部においては、2市での活動が困難になりつつある。

そこで、次のように県協議会の支部再編について、検討していきたい。

1 支部再編の考え方

（1）案1

○支部数は4支部のまま。

○備北支部（高梁市・新見市）を2市から備前支部の吉備中央町を編入し、2市1町にする。

（2）案2

○4支部から3支部へ縮小する。

○備北支部を解体する。

→高梁市・新見市を他支部へ編入

※受け入れ支部は要検討

【参考】各支部所属市町村

○備前支部（7市町）：岡山市・玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町
吉備中央町

○備南支部（8市町）：倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・浅口市・早島町
里庄町・矢掛町

○美作支部（10市町村）：津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・奈義町
西粟倉村・久米南町・美咲町

○備北支部（2市）：高梁市・新見市

2 今後の方向性

（1）常任理事会及び理事会へ提案

（2）承認後、令和7年度から新体制で活動

県スポーツ推進委員協議会 令和7年度一般会計予算について

年々、県内のスポーツ推進委員の登録が減少しており（R6：877人）、収入源の登録料も減少している。

その中、物価高に伴う様々なものが高騰しているとともに、例年とおりの事業費や管理費等の支出をしていくと、2～3年後には、財政が破綻することになる。

そこで、県協議会の一般会計の財源確保のため、予算編成について、検討していただきたい。

I 令和6年度の財源確保に向けた取組

○各会議における飲み物の提供を廃止

- ・昨年度より約8万円確保（会議数の減少）
- ・女性委員会の廃止に伴い、約4万円未計上
- ・約12万円の確保

○各会議の案内及び資料等の郵送を廃止（メール対応へ）

- ・通信運搬費（切手・はがき購入）及び消耗品費（封筒代）の減少
- ・約9万円の減少

II 令和6年度の実績から支出負担が増加になったもの

○県研修会表彰関係

- ・記念品等の単価の上昇

○旅費関係

- ・中国地区理事会の旅費の復活（R4～5は中止）
- ・県外出張に伴う、旅費の上昇（新幹線等の料金）

※2～3年に開催される初任者研修がある場合（今年度開催）

III 予算編成の考え方（財源確保に向けた取組）

1 支部活動助成費の助成方法の変更

例年、支部活動助成費を各支部へ助成している。

各支部へ50,000円（定額）に加え、1人当たり500円の人数分を助成している。

今回、助成方法について、次に示す案について検討していただきたい。

※ ○メリット ●デメリット

（1）各支部への定額50,000円の助成の廃止（案1）

○毎年、20万円の財源確保

●各支部で開催する研修会等の支援ができなくなる。（県からの支援なし）

(2) 1人当たり500円の助成の廃止(案2)

○毎年、約40万円の財源確保(R6は438,500円)

●各支部で開催する研修会等の支援ができなくなる。

●財源確保の金額が大きいため、繰越金額が増加する。

●毎年2,000円の会費を徴収しているが、500円をバックすることで、2,000円徴収する意味があるのか。1,500円で良いのではないか。

→ 県協議会の規約施行細則の改訂が必要となる。

【参考】

1 スポーツ推進委員数等の変遷

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7(予定)
推進委員数	928	917	923	900	890	877	875
収入(人数分)	1,856,000	1,834,000	1,846,000	1,800,000	1,780,000	1,754,000	1,750,000
総収入	3,305,579	3,292,288	3,887,668	4,185,118	3,608,578	3,250,000	3,170,000
支出	2,496,544	2,035,865	2,531,791	3,579,765	3,287,519	3,000,000	3,000,000
繰越額	809,035	1,256,423	1,355,877	605,353	321,059	250,000	170,000

○令和2～3年は、コロナのため各事業が中止になり、繰越額が増加した。

○令和3～4年に、コロナ対策費として、各支部へ10万円配布したため、繰越額を調整し、減額した。

2 各支部の助成金

	備前支部	備南支部	備北支部	美作支部	合計
推進委員数	304	221	82	270	877
現状	202,000	160,500	91,000	185,000	638,500
案1	152,000	110,500	41,000	135,000	438,500
案2	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000

3 今後の方向性

(1) 常任理事会及び理事会へ提案

- ・現状のままで他の費目を削減
- ・案1か案2を提案

(2) 承認後、令和7年度から予算執行